

エコアクション 21 環境経営レポート

レポート対象期間（2023 年 4 月～2024 年 3 月）



佐世保市の展望台より九十九島を望む

有限会社 ハート美装サービス
長崎県佐世保市もみじが丘町 40 番 10
2024 年 7 月 1 日発行

目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境経営活動計画
6. 環境経営目標の実績
7. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 組織の概要

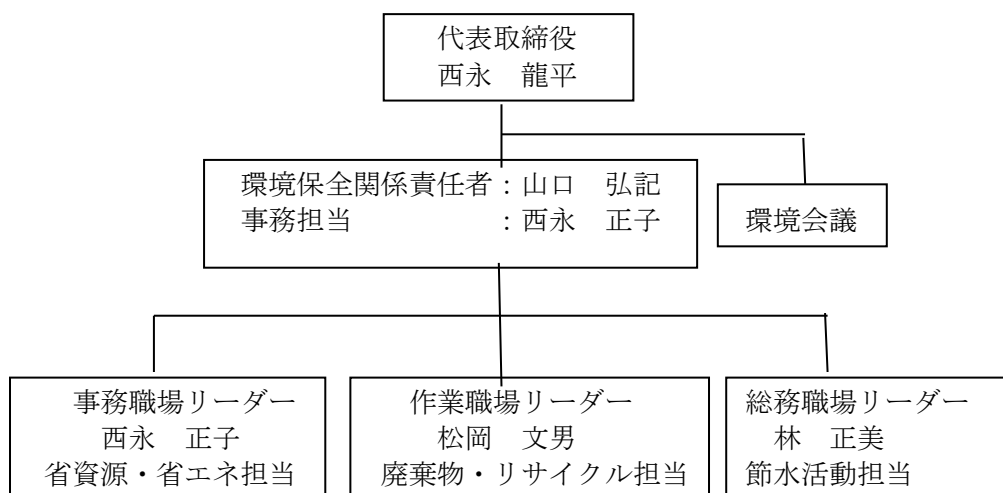
1) 認証登録

- ①事業所名 : 有限会社 ハート美装サービス
②代表者 : 代表取締役 西永 龍平
③所在地 : 本社 長崎県佐世保市もみじが丘町 40 番 10
: 倉庫 長崎県佐世保市田の浦町 145 番地 5
④環境管理責任者 : 山口 弘記
⑤連絡先 : Tel 0956-20-0037
e-mail heart46@hyper.ocn.ne.jp
⑥担当連絡者 : 設備担当 山口 弘記
⑦事業内容 : 建築物環境衛生総合管理業（ビル清掃、貯水槽清掃、ねずみ昆虫防除、
排水管清掃、空気環境測定）
⑧事業の規模 : 従業員総数 19 名（正社員 10 名、パート・アルバイト 9 名）
売上高 2023 年度 111 百万円
本社床面積 122 m²
倉庫床面積 86 m²

2) 環境管理推進の組織図

- ①当社が、事業活動を行う上で環境管理を推進するための組織図を【表 1】に示します。

【表 1 組織図】



②環境管理組織図における役割、責任及び権限

(1) 代表取締役

- ・環境経営方針を策定する。
- ・環境経営目標及び環境経営活動計画を承認する。
- ・環境管理責任者を任命する。
- ・環境経営システムの構築及び運用、環境経営目標及び環境経営行動計画の実施に必要な資源（人的・物的・財務的資源）を用意する。
- ・毎年 4 月に環境経営システム及び環境方針、環境経営目標の見直しを行う。

(2) 環境保全関係責任者

- ・環境経営システムに関する記録を管理・保存する。
- ・環境管理責任者は、「教育・訓練の実施の年間計画の策定」、「社内外における環境コミュニケーションの取りまとめ」、「環境上の緊急事態への対応策を定め、そのための準備や訓練の実施の管理」、「環境関連文書及び記録の作成・管理」を行う。

- ・代表者（経営者）に代わってエコアクション 21 ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築、運用、維持し、またその取組状況を確認・評価し代表者に報告する。また、問題点がある場合は必要な是正及び予防処置を実施し、このことも代表者に報告する。
 - ・代表者に代わり、環境経営システム全体の構築・運用に責任を持つとともに、必要な権限を持つ。
- (3) 職場リーダー
- ・職場リーダーは PDCA サイクルを各職場で回すために指示・監督を行う。
 - ・PDCA サイクルをまわす際は、以下の短期サイクルと 1 年サイクルを使い分け、各職場からの環境負荷の低減に努める。
- (4) 各担当職員
- ・環境作業手順書に従って、環境経営行動計画における担当環境作業を実施し、結果をチェックし、記録をとり環境保全責任者に報告する。
 - ・環境への負荷の自己チェックを実施し、その結果を点検の上、環境保全責任者に報告する。
 - ・作業表に担当する作業場での取組結果を示し、環境管理責任者に報告する。

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

1) 認証・登録の対象とする組織

当社は、全組織・全活動を認証・登録の対象範囲としています。

所在地 本社 長崎県佐世保市もみじが丘町 40 番 10

事業内容 建築物環境衛生総合管理業（ビル清掃、貯水槽清掃、ねずみ昆虫防除、排水管清掃、空気環境測定）

3. 環境経営方針

有限会社 ハート美装サービス 環境経営方針

1. 基本理念

(有)ハート美装サービスは、建築物環境衛生総合管理業を行う上で、環境の保全を経営の重要課題の一つとして認識し、事業活動の中で環境に与える影響を適確に把握すると共に、地球環境及び地域環境に配慮した事業活動を行う企業を目指します。

また、当社は事業活動を行うなかで地域住民や地域環境に配慮し、環境と人にやさしい事業活動を行っていきます。この実現のため、以下の環境経営方針を定め、その方針に基づいて環境の保全及び継続的改善に努めます。

2. 環境経営方針

(1) 建築物環境衛生総合管理業(主に清掃事業)を通じて、環境負荷の低減と汚染の予防、ならびに生活環境の保全と向上に寄与します。

(2) 省エネルギー活動の推進

事業活動における消費電力の節減等、二酸化炭素排出の削減に努めます。

(3) 燃料消費量削減による CO2 削減の推進

エコドライブを行い、環境負荷への低減を推進します。

(4) 廃棄物の削減、リサイクル活動の推進

事業活動に伴う廃棄物を最小限にする努力をし、リサイクル活動を推進します。

(5) 水資源を大切にし、節水活動に努めます。

(6) 化学物質使用量削減を推進します。

(7) お客様の要望事項および環境関連法規の遵守

環境関連の諸法規及び条例等を遵守します。

(8) 継続的環境改善の実施

環境マネジメントに関する目的・目標を設定し、取組結果を点検・評価することにより、さらなる継続的な環境改善につなげていきます。

(9) 情報提供と地域の環境活動・施策への協力

環境活動レポートを公表するなど、社内外に対して環境に関する情報の提供を行うと共に、地域社会の一員として地域の環境活動並びに施策に積極的に参加します。

平成 31 年 4 月 1 日制定

有限会社 ハート美装サービス
代表取締役 西永 龍平

4. 環境経営目標

(1) 環境への負荷の状況（取りまとめ表）

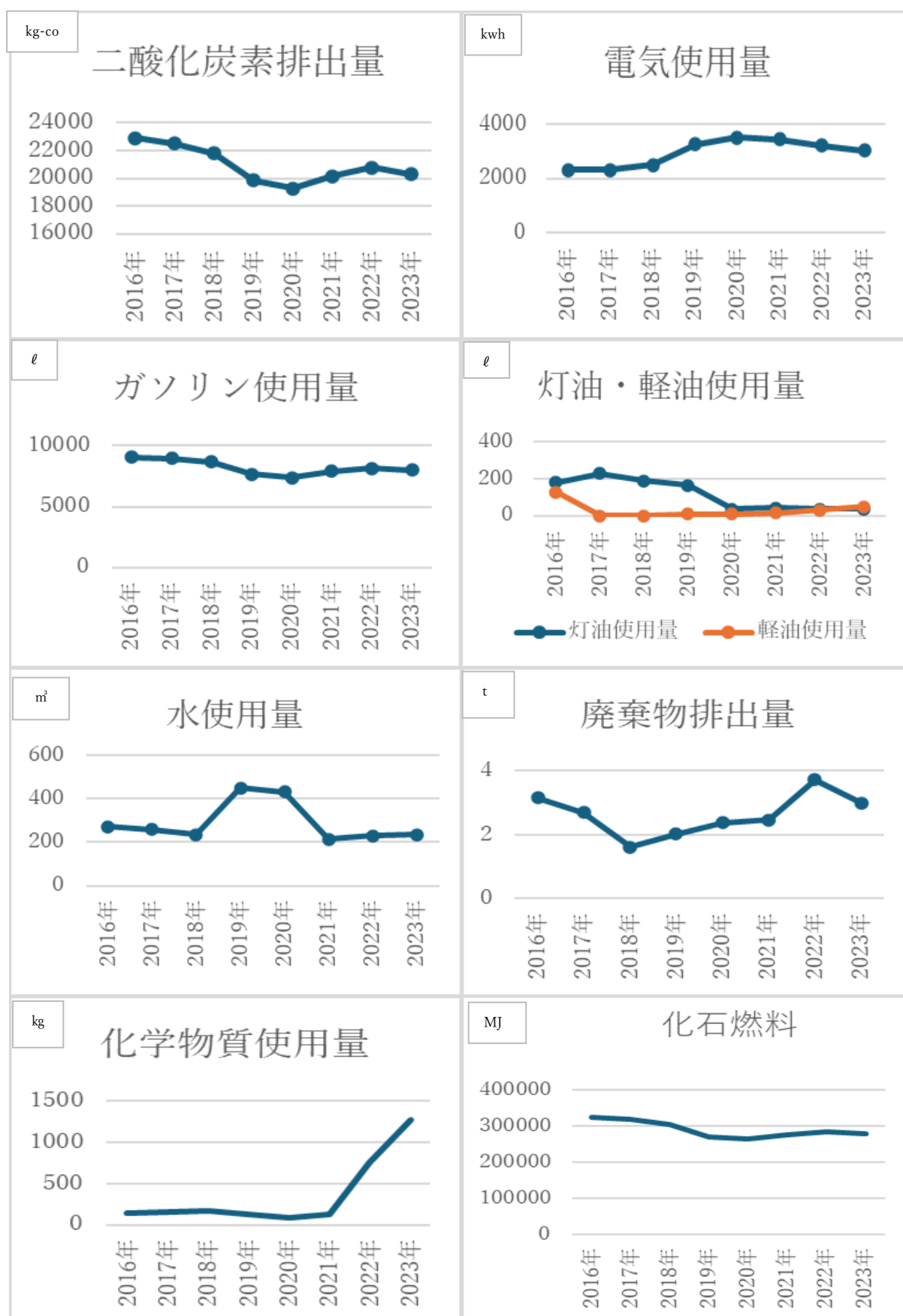
1) 当社の過去3年に於ける環境負荷の実績は以下の通りです。

環境への負荷			単位	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素		kg-CO ₂	19,301.57	20184.88	20,794.45	20,288.55
	(電気使用量)		kwh	3,527.00	3,464.00	3,234.00	3,039.00
	(灯油使用量)		L	38.00	44.00	104.22	38.00
	(ガソリン使用量)		L	7,401.11	7,901.84	8,136.54	8,010.39
	(軽油使用量)		L	8.00	15.00	31.00	48.84
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	(焼却)	t	2.38	2.46	3.73	3.00
		(リサイクル)	0	0	0	0	0
	産業廃棄物	最終処分量					0
		最終処分量					0
③-1 総排水量	公共用水域		m ³				
	下水道		m ³	224.25	106.5	229.0	235.25
③-2 水使用量 1	上水		m ³	448.5	106.5	229.0	235.25
	工業用水		m ³				
	地下水		m ³				
④ 化学物質使用量(購入量)	アルカリ系洗剤		kg	91.6	130	136	100.00
	強アルカリ系洗剤		kg	18.00	20.00	36.00	144.00
	酸性洗剤		kg	80.00	197.60	60.00	60.00
	強酸性洗剤		kg	10.00	0	0	80.00
	塩素系薬剤		kg	95.00	172.75	145.00	113.00
	WAX剤		kg	810.90	381.80	396.00	774.00
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)		MJ	12,697.20	12,470.40	11,642.40	10,940.40
	化石燃料		MJ	257,778.60	275,591.46	286,533.35	280,419.77
	新エネルギー		MJ				
	その他		MJ				
⑥ 物質使用量	資源使用量		t				
	循環資源使用量		t				
⑦ サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質		t				
	水の利用量		m ³				

※環境省資料 2016 年度の CO2 排出係数を使用 九州電力 0.483kg-CO2/kWh (調整値)

※環境省資料燃料別 CO2 排出係数を使用 ガソリン 2.32kg-co2/l 灯油 2.48kg-co2/l 軽油 2.61kg-co2/l

※生産量等については該当なしのため記載なし。



(2) 環境経営目標（次年度）

前年度実績×前年売上比率を出し、そこから1%削減を次年度の目標値とする

原単位資料（2022年度売上116百万円→2023年度売上111百万円、前年度比96%）

1) CO₂排出量の削減

CO₂排出量を前年度売上比率の1%削減を2024年度目標とする。

項目	単位	2023年度実績	2024年度目標	前年度売上比率（96%）の1%削減
CO ₂ 排出量	kg-co ₂	20054.55	19059.84	(前年度×0.96) ×0.99

2) 省エネルギー活動の推進

電力消費量を前年度売上比率の1%削減を2024年度目標とする。

項目	単位	2023年度実績	2024年度目標	前年度売上比率（96%）の1%削減
電力消費量	kWh	3039.00	2888.26	(前年度×0.96) ×0.99

【尚、電力の二酸化炭素排出係数は0.406 kg-CO₂/kWh(2023年度係数)を使用】

3) 化石燃料の削減

燃料油消費量を前年度売上比率の1%削減を2024年度目標とする。

項目	単位	2023年度実績	2024年度目標	前年度売上比率（96%）の1%削減
灯油消費量	L	38	36.10	(前年度×0.96) ×0.99
ガソリン消費量	L	8010.39	7613.07	(前年度×0.96) ×0.99
軽油消費量	L	48.84	46.41	(前年度×0.96) ×0.99

1リットル当りの走行距離の延長と運搬量の増加に努めます。

4) 一般廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

単純焼却ごみ量を前年度売上比率の1%削減を2024年度目標とする。

項目	単位	2023年度実績	2024年度目標	前年度売上比率（96%）の1%削減
単純焼却ごみ	t	3.00	2.85	(前年度×0.96) ×0.99

5) 節水活動の維持

水使用量を前年度売上比率の1%削減を2024年度目標とする。

項目	単位	2023年度実績	2024年度目標	前年度売上比率（96%）の1%削減
水使用量	m ³	235.25	223.58	(前年度×0.96) ×0.99

6) 化学物質使用量・洗浄薬品類（化学物質を含む毒物・劇物）使用量を前年度売上比率の1%削減を2024年度目標とする。

項目	単位	2023 年度 実績	2024 年度目標	前年度売上比率（96％）の 1%削減
化学物質使用量	kg	1271.00	1207.95	(前年度×0.96) ×0.99)

7) 自らが提供するサービスに関する環境配慮
地域環境守る教育活動を2023年度と同じ、2024年度も2回/年にする

項目	単位	2023 年度 実績	2024 年度目標	
地域環境守る 教育	回	2 回	2 回	

8) 地域ボランティア活動の推進
地域ボランティア活動・年間回数を2023年度と同じ、2024年度も2回/年にする

項目	単位	2023 年度 実績	2024 年度目標	
地域ボランティ ア活動	回/年間	2 回	2 回	

(3) 環境経営目標（中長期）

2023 年度実績・前年比を基に以降 3 ヶ年の目標を設定

※複数年度の目標設定は、前年度売上比率を原単位とし、削減比率を乗ずる。

原単位資料（2022 年度売上 116 百万円→2023 年度売上 111 百万円、前年度比 96%）

計算例（前年度実績×原単位 0.96）×0.99＝目標値（前年度比率の 1%削減）

※環境省資料 2023 年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数を使用

九州電力 0.406kg-CO2/kWh（調整値）

	項目	単位	2023 年 度実績	2024 年 度目標	2025 年 度目標	2026 年 度目標
CO2 排出量の削減	CO2 排出量	kg-co2	20054.55	19059.84	18114.47	17215.99
省エネルギー活動の推進	電力消費量	kwh	3039.00	2888.26	2745.00	2608.84
化石燃料の削減	灯油消費量	ℓ	38.00	36.11	34.31	32.60
	ガソリン消費量	ℓ	8010.39	7613.07	7235.46	6876.58
	軽油消費量	ℓ	48.84	46.41	44.10	41.91
一般廃棄物の削減・リサイクル活動の推進	単純焼却ごみ	t	3.00	2.85	2.70	2.57
節水活動の維持	水使用量	m ³	235.25	223.58	212.49	201.95
化学物質使用量削減	化学物質使用量 （購入量）	kg	1271.00	1207.95	1148.03	1091.08
自らが提供するサービスに関する環境配慮	地域環境守る教育	回	2	2	2	2
地域ボランティア活動の推進	地域ボランティア活動	回/年間	2	2	2	2

5. 環境経営目標の実績

1) 環境経営目標に対する達成状況は以下の通りです。

原単位資料 (2022 年度売上 116 百万円→2023 年度売上 111 百万円、前年度比 96%)

削減率 (実績÷目標) ×100→余剰分を 100 から引いた値

① CO₂ 排出量の削減

2016 年度より、前年度売上比率の 5%削減を 2023 年度目標とする。

項目	単位	2023 年度 目標値	2023 年度実績	達成率	評価
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	20544	20288	101%	○

② 省エネルギー活動の推進

電力消費量を 2016 年度より、前年度売上比率の 5%削減を 2023 年度目標とする。

項目	単位	2023 年度 目標値	2023 年度実績	達成率	評価
電力消費量	kwh	3195	3039	105%	○

③ 化石燃料の削減

燃料油消費量を 2016 年度より、前年度売上比率の 5%削減を 2023 年度目標とする。

項目	単位	2023 年度 目標値	2023 年度実績	達成率	評価
灯油消費量	L	102.9	38	270%	○
ガソリン消費量	L	8038.9	8010.39	100%	○
軽油消費量	L	30.6	48.84	38%	×

1 リットル当りの走行距離の延長と運搬量の増加に努めます。

④ 一般廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

一般廃棄物排出量は 2016 年度より、前年度売上比率の 5%削減を 2023 年度目標として、それを継続、維持する。

項目	単位	2023 年度 目標値	2023 年度実績	達成率	評価
単純焼却等	t	3.68	3.00	122%	○

⑤ 節水活動の維持

2016 年度より、前年度売上比率の 5%削減を 2023 年度目標とする。

項目	単位	2023 年度 目標値	2023 年度実績	達成率	評価
水使用量	m ³	226	235.25	96%	×

⑥ 化学物質使用量の削減・・・*洗浄薬品類 (化学物質を含む毒物・劇物) の 2016 年度より、前年度売上比率の 5%削減を 2023 年度目標とする。

項目	単位	2023 年度 目標値	2023 年度実績	達成率	評価
化学物質使用量	kg	751.4	1271	41%	×

⑦ 自らが提供するサービスに関する環境配慮、
地域環境守る教育活動を 2016 年度と同じ、2023 年度も 2 回/年にする。

項目	単位	2023 年度 目標値	2023 年度実績	達成率	評価
地域環境を守る 教育	回/年間	2	2	100%	○

⑧ 地域ボランティア活動の推進
地域ボランティア活動・年間回数を 2016 年度と同じ、2023 年度も 2 回/年にする

項目	単位	2023 年度 目標値	2023 年度実績	達成率	評価
地域ボランティア活動	回/年間	2	2	100%	○

2) 環境目標達成状況の評価と未達成の理由及び、次年度目標への改善策

- ① 二酸化炭素の排出については、ガソリン消費量・電気使用量が昨年より減っていた為、削減に繋がった。
- ② 電気使用量については、夏期は空調の使用可能条件を改善し、冬期は各自の寒さ対策を講じた為、電気使用量の削減に繋がった。
- ③ 化石燃料については、軽油が目標達成できなかったものの、ガソリン・灯油の消費量が削減達成となった。効率・燃料削減を考慮し使用していく。
- ④ 焼却ごみは、大きくは官庁宿舎や道路公園・契約先施設の除草量による。
- ⑤ 節水に関しては、必要最低限の使用を継続する。なお、自宅と半分計算である。
- ⑥ 化学物質購入量は決算前の購入などが大きかったことから増加した。使用量は施工先に適した薬剤の用法容量どおりである。
- ⑦ 地域環境に影響を与える、弊社の周りから清掃活動進める。
- ⑧ 周辺地域の清掃を主に活動。

6. 環境経営計画

当社の環境経営活動計画を表2に示します。

【表2 環境経営計画】

取組項目	責任者	担当者	取組内容	実施期間
電力諸費量削減	西永	事務員	①昼休み及び不在時の照明消灯 ②未使用時のパソコン電源オフ ③室内空調は夏期 26 度～28℃、冬期は 20 度以下に設定	①通年 ②通年 ③7, 8 月、12, 1, 2 月
エコドライブの推進	山口	作業員	①効率的な収集ルートの設定 ②社用車の効率的な運転の推進 ③アイドリングストップの励行 ④定期的な車両整備の励行 ⑤できるだけ往復して運搬励行。 ⑥走行距離と供給燃料量を記録する。	①～⑥通年
節水活動の推進	林	事務員 作業員	①水道の蛇口を調節して、必要以上に使いすぎないようにする。 ②流しっぱなしにしない。 ③トイレの使用の際に注意して、水を使用する。	①～③通年
廃棄物の削減・リサイクル活動の推進	山口	事務員 作業員	①紙使用量の削減 ・両面コピーの徹底 ・裏紙の使用(社内文書・メモ紙) ・使用済みの封筒の再利用 ②社の購読の新聞などは資源ごみとして出し、再資源化率を向上 ③ゴミの分別の徹底 ④再利用先の拡大	①～④通年
化学物質使用量の削減	山口	作業員	①使用の計量・記録 ②環境負荷の大小 ③教育実施	①～③通年
自らが提供するサービスに関する環境配慮	山口	事務員 作業員	①地域に対する環境負荷 ②薬剤等使用に関する注意点 ③教育実施	①～③通年
ボランティア活動	山口	事務員 作業員	①海の日クリーン ②会社の周りの清掃活動	①1年2回 ②通年2・3ヶ月置

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1) 取組結果とその評価

取組項目	責任者	担当者	取組内容	実施状況			評価
				2022 年 後期	2023 年 前期	2023 年 後期	
電力諸費量削減	西永	事務員	①昼休み及び不在時の照明消灯	○	○	○	○
			②未使用時のパソコン電源オフ	○	○	○	○
			③室内空調は夏期 26 度～28℃、冬期は 20 度以下に設定	○	○	○	○
			④各自の暑さ・寒さ対策	—	○	○	○
エコドライブの推進	山口	作業員	①効率的な収集ルートの設定	○	○	○	○
			②社用車の効率的な運転の推進	○	○	○	○
			③アイドリングストップの励行	△	△	△	△
			④定期的な車両整備の励行	○	○	○	○
			⑤往復を利用して運搬励行。	○	○	○	△
			⑥走行距離と供給燃料量を記録する。	○	○	○	○
節水活動の推進	林	事務員 作業員	①水道の蛇口を調節して、必要以上に使いすぎないようにする。	○	○	○	○
			②流しっぱなしにしない。	○	○	○	○
			③トイレの使用の際に注意して、水を使用する。	○	○	○	○
			④洗濯を少量でかけない。	—	○	○	△
廃棄物の削減・リサイクル活動の推進	山口	事務員 作業員	①紙使用量の削減 ・両面コピーの徹底 ・裏紙の使用(社内文書/メモ) ・ミスした紙は裏面をメモ用紙として使用 ・使用済みの封筒の再利用	○	○	○	○
			②社内購読の新聞などは資源ごみとして出し、再資源化率を向上	○	○	○	○
			③ゴミの分別の徹底	○	○	○	○
			④再利用先の拡大	△	○	○	△
化学物質使用量の削減	山口	作業員	①使用の計量・記録	○	○	○	○
			②環境負荷の大小	○	○	○	○
			③教育実施	○	○	○	○
自らが提供するサービスに関する環境配慮	山口	事務員 作業員	①地域に対する環境負荷	○	○	○	○
			②薬剤等使用に関する注意点	○	○	○	○
			③教育実施	○	○	○	○
ボランティア活動	山口	事務員 作業員	①海の日クリーン	／	／	／	／
			②会社の周りの清掃活動	○	○	○	○

2) 次年度の取組内容

2024 年度も下表のとおり、2023 年度の取組を継続する。

【表 2 環境経営活動計画】

取組項目	責任者	担当者	取組内容	実施期間
電力諸費量削減	西永	事務員	①昼休み及び不在時の照明消灯 ②未使用時のパソコン電源オフ ③室内空調は夏期 26 度～28℃、冬期は 20 度以下に設定 ④各自の暑さ・寒さ対策	①②④通年 ③7, 8 月、12, 1, 2 月
エコドライブの推進	山口	作業員	①効率的な収集ルートの設定 ②社用車の効率的な運転の推進 ③アイドリングストップの励行 ④定期的な車両整備の励行 ⑤往復を利用して運搬励行。 ⑥走行距離と供給燃料量を記録する。	①～⑥通年
節水活動の推進	林	事務員 作業員	①水道の蛇口を調節して、必要以上に使いすぎないようにする。 ②流しっぱなしにしない。 ③トイレの使用の際に注意して、水を使用する。 ④洗濯を少量でかけない。	①～③通年
廃棄物の削減・リサイクル活動の推進	山口	事務員 作業員	①紙使用量の削減 ・両面コピーの徹底 ・裏紙の使用(社内文書・メモ紙) ・使用済みの封筒の再利用 ②社の購読の新聞などは資源ごみとして出し、再資源化率を向上 ③ゴミの分別の徹底 ④再利用先の拡大	①～④通年
化学物質使用量の削減	山口	作業員	①使用の計量・記録 ②環境負荷の大小 ③教育実施	①～③通年
自らが提供するサービスに関する環境配慮	山口	事務員 作業員	①地域に対する環境負荷 ②薬剤等使用に関する注意点 ③教育実施	①～③通年
ボランティア活動	山口	事務員 作業員	①海の日クリーン ②会社の周りの清掃活動	①1 年 2 回 ②通年 2・3 ヶ月置

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

【表3 環境法規リスト】

法令の名称	法令等の遵守すべき内容	当社の対応	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	法第12条3～8：産業廃棄物の収集・運搬の委託。	枯葉・落葉清掃後の運搬・回収をする産業廃棄物が排出した際は適切な業者へ収集運搬を委託依頼する。	○	2023 年 5月8日
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	法第6条、排出事業者および消費者の義務	長期間使用、排出抑制の義務ならびに排出時の収集・運搬をする者又は再商品化等をする者に適切に引渡し、料金の支払いに応じる	○	2023 年 5月8日
消防法	消火器の点検 避難経路の確保 危険物の分別保管	半年に1回以上の点検 通路に不要な物を置かない 保管場所・棚で分け置く	○	2023 年 5月8日
労働安全衛生法（有機溶剤中毒予防規制）	溶剤の保管 有機溶剤の表示・識別 溶剤使用時の手袋・服装・保護具	容器のふたは、しっかり閉める。表示による識別は出来ているか。使用の際の保護具をして作業を行っているか。	○	2023 年 5月8日
ビル管理法	建築物における衛生的環境の確保に関する法律	浮遊粉塵測定器の校正を行っているか。貯水槽用資機材は他の道具と別保管されているか。医療機関のねずみおよび昆虫等の防除・駆除の安全管理を、確認しているか。	○	2023 年 5月8日
毒物及び劇物取締法	表示・保管・使用方法の遵守	法律で決められた表示方法及び保管を行っているか。MSDSで、安全な薬品の取扱い方法を確認しているか。	○	2023 年 5月8日
佐世保市環境基本条例（自主規制）	条例に従って、ゴミの分別等（アイドリングストップ）	条例に従った、ゴミ分別及び出し方。（近隣住民からの苦情はないか。）	○	2023 年 5月8日
道路運送車両法	道路交通に際しての法律	法律で決められた、始業点検の励行。飲酒運転の禁止。	○	2023 年 5月8日
その他の要求事項	依頼先（作業所）の取り決め事。	佐世保市業務は、委託契約課の情報漏洩に関する決まりを守る。日本ハムの内部規則の遵守。建設会社の契約書及び仕様書・注意文書を守る。	○	2023 年 5月8日
フロン排出抑制法	第一種特定製品の管理者の役割（管理者の判断基準（法第16条）等）	設置場所の環境維持、保全すべての第一種特定製品を対象とした簡易点検を実施する。 点検・修理・冷房の充填・回収等の履歴を記録する。漏洩防止措置を	○	2023 年 5月8日

以上、当該関係法令について、過去3年間、関係機関等からの指導、指摘等はありませんでした。又、訴訟等も同様に1件もありませんでした。

弊社でも適用法令すべてチェックし問題ない事を確認しました。

随時見直しを行い、弊社の事業活動に適用される環境法規制・条例等の遵守に努めます。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21の取組みを始めてから、環境活動目標を掲げ11年が経過しました。

今年は、削減目標の多くを達成することが出来ました。

次年度より、削減目標 5%削減としていたところを高い目標では達成が難しくなってきたことを鑑み、1%削減を目標としました。

引き続き、CO2 排出削減に努めて参ります。

ガソリン等の燃料の使用は、CO2 排出削減に大きく影響しますが、現場への距離、作業内容において必ず使用するものなので、効率的な運用を意識・実施する必要があります。

電力使用量や水使用量については、引き続き環境経営活動計画の取組を継続する。

又、人材不足により、請け負えない業務もあり、売り上げも低迷しつつあるため、人材採用・教育を行い、一人一人の技能、作業効率を向上させる必要がある。

また、戦略会議を行い、当社の未開拓部分を検討し、新規顧客の獲得を目指す。

今後の課題は、全使用量の削減に意識を高め活動計画の推進を図るため、継続できる環境システムの構築と作業効率化について全従業員へのさらなる周知徹底、教育（4月より職長会議を行い安全・品質・環境）を行うこと。

2024年 7月 3日

有限会社 代表取締役 **西永 龍平**